



# 2023 ➡➡ 2025

## ナガワグループ中期経営計画

### Sustainable Nagawa Action

2022年11月14日  
株式会社ナガワ

#### 将来情報に関するご注意

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

# ナガワグループ中期経営計画

## もくじ

1.現状認識と経営計画の考え方

2.基本方針

3.定量計画

4.セグメント戦略

2023  2025

ナガワグループ中期経営計画

現状認識と経営計画の考え方

2023  2025

# ナガワグループを取り巻く外部環境と課題認識

## 外部環境

新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済活動への影響

SDGS・ESGに対する意識の高まり

世界情勢における不確実性の高まり

デジタル化の急加速

## 課題認識

現状を好機ととらえた施策

マーケットイン志向による顧客ニーズに対応したビジネスモデルの変革

災害対応型企業の確立

# ナガワグループ経営計画の考え方

2016年に創業50年を迎え、次の50年へ歩み始めております。

創業100年を見据えて「進むべき将来像」を明確に描き、その実現のためのスタートの3年間として実施する業績と施策を、

「**中期経営計画 – Sustainable Nagawa Action –**」として策定しました。



ナガワグループ中期経営計画

## 基本方針

2023  2025

# Sustainable Nagawa Action – 6つの基本方針 + α



5R事業の深化



軽量鉄骨建築の拡大による  
新しい投資スタイルの確立



生産体制の自動化・ロボット化



東南アジア（タイ国）市場の展開強化



就学補助による「プロ集団」の育成



M&Aによるコアビジネスの拡大

デジタル（AI・IoT）活用による  
さらなる価値の創造

マーケットインの追求

# Sustainable Nagawa Action- – ESG

ナガワグループではかねてより「誠実な経営を通してお客様と地域社会から信頼される企業創造」を目指すことを企業理念として掲げています。これは昨今求められている「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方とも合致しており、ナガワグループの中長期的な成長を図るとともに、社会の一員として持続可能な社会の実現を目指します。

**E**  
  
-環境-  
Environment

コア事業の普及拡大による脱炭素

5R事業の深化と継続推進

**S**  
  
-社会-  
Social

災害時の応急仮設住宅供給

奨学事業・研究室助成事業の推進

**G**  
  
-ガバナンス-  
Governance

社外役員比率50%維持

指名報酬委員会設置による経営の透明性確保



# Sustainable Nagawa Action- –SDGs

ナガワグループは、国際社会の共通目標として掲げられた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」の達成に、事業を通じて貢献していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 既存事業の拡大

5Rを推進し、当社事業を広く普及させる



### 対処すべき課題

海外展開を加速させ、投資を拡大していく



サステナビリティに関する具体的な取り組みについては  
当社HPをご覧ください



ナガワグループ中期経営計画  
定量計画

2023  2025

# Sustainable Nagawa Action – 定量計画

## 経営計画 < 2025年度 >

売上高	380 億円
-----	--------

営業利益	55 億円
------	-------

営業利益率	15 %
-------	------

経常利益	57 億円
------	-------

当期純利益	40 億円
-------	-------

レンタル保有	115,000 棟
--------	-----------

ROIC	8.0 %
------	-------

## 投資計画 < 2023-2025年度 >

設備投資	130 億円
------	--------

研究開発費	50 億円
-------	-------

※成長・機能投資含む

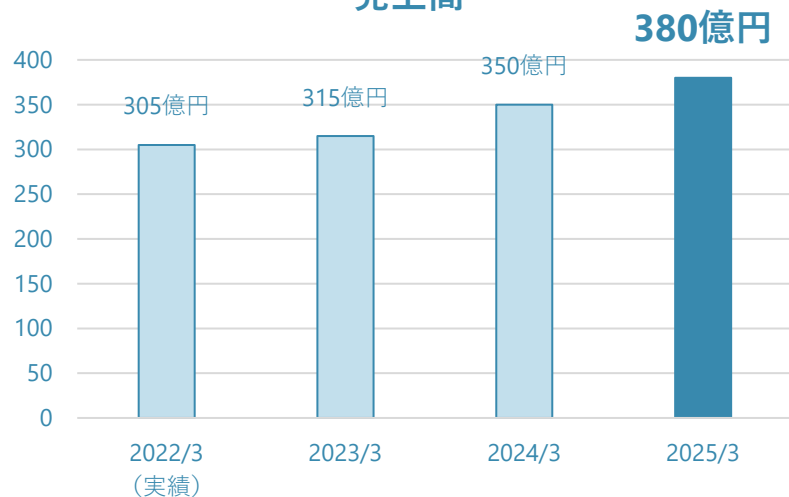
## 財務指標

自己資本	580 億円
------	--------

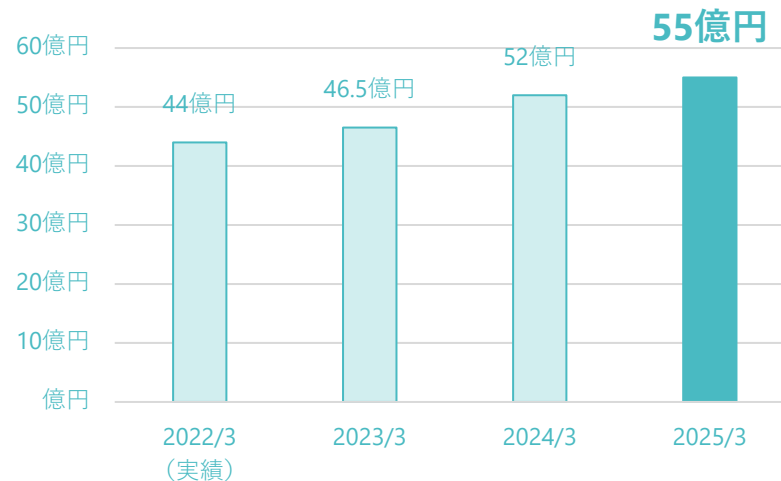
総還元性向	30 %
-------	------

# Sustainable Nagawa Action – 年度別定量計画[PL]

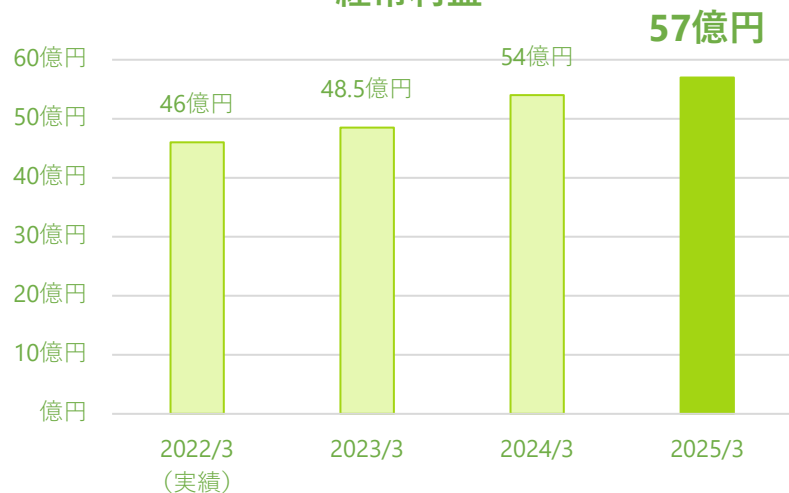
売上高



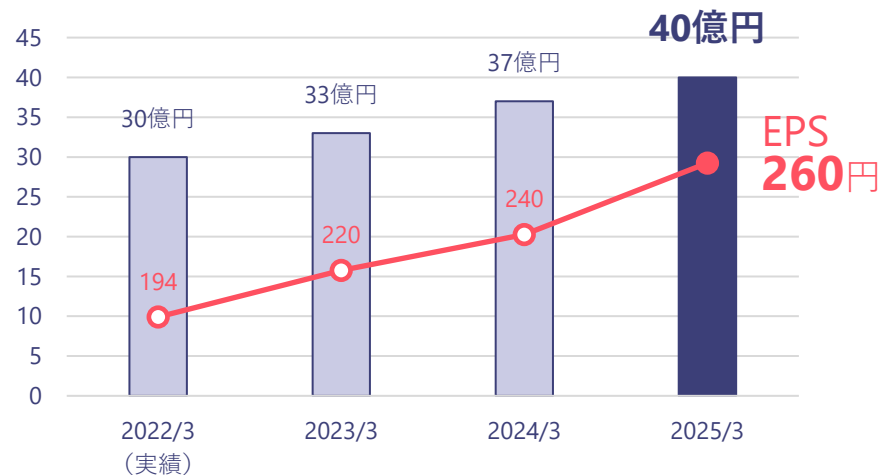
営業利益



経常利益

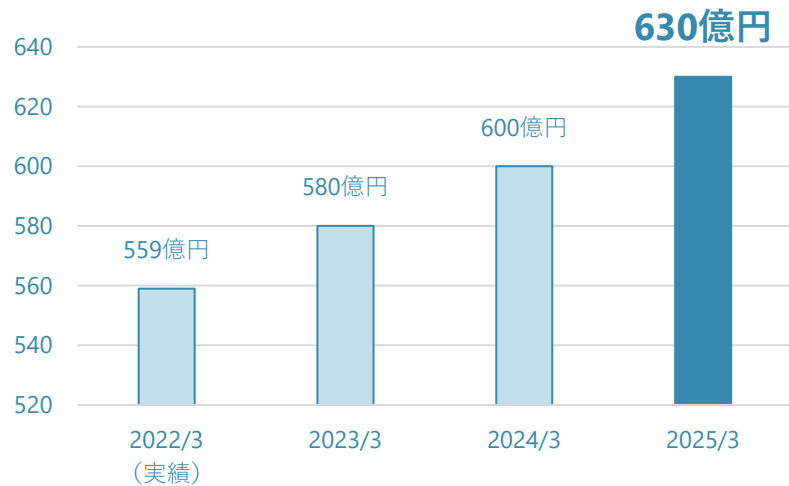


当期純利益

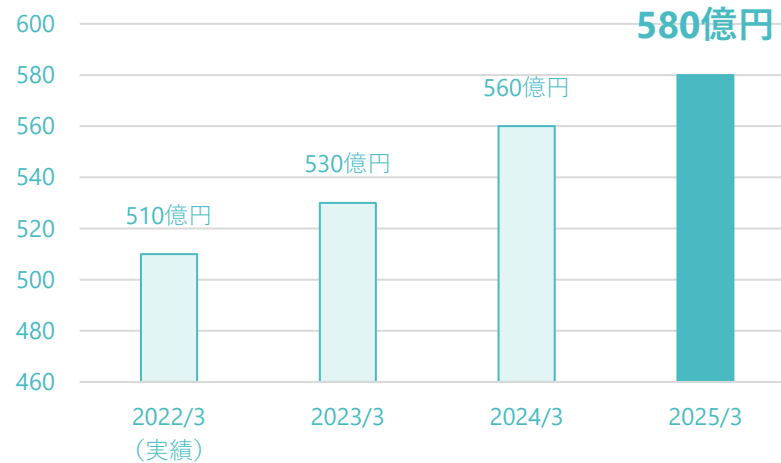


# Sustainable Nagawa Action – 年度別定量計画[BS]

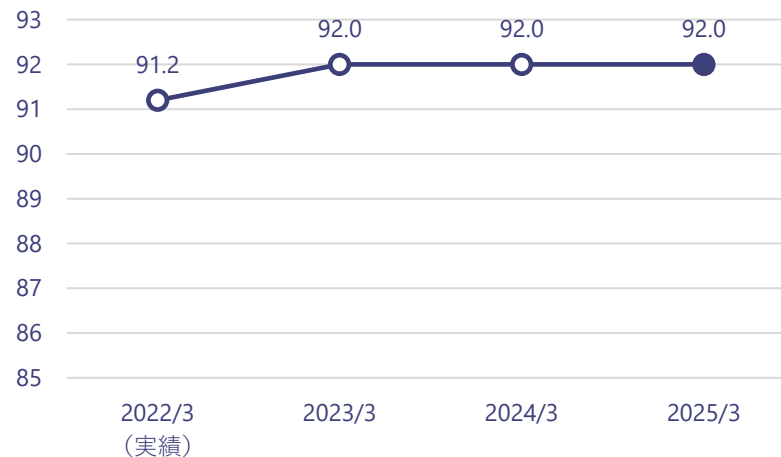
### 総資産



### 純資産



### 自己資本比率



2023  2025  
Sustainable Nagawa Action

ナガワグループ中期経営計画  
セグメント戦略

2023  2025

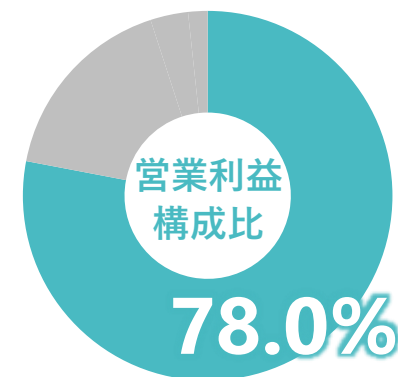
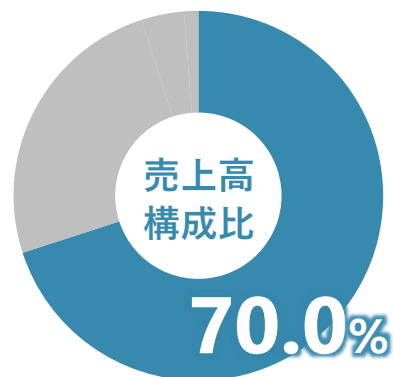
# ユニットハウス事業

## 経営計画<2025年度>

売上高 280 億円

営業利益 46 億円

レンタル保有 115,000 棟



### 5R事業の深化（循環型ビジネスの拡大）

CO2排出量の削減

### 生産体制の自動化

結城工場の生産ライン自動化により  
さらなる安定供給体制を確立

### 展示場出店の加速

全国70店舗から200店舗体制へ

### 災害対応能力の強化

地震被害・豪雨被害等での社会貢献機能強化  
各自治体との連携強化

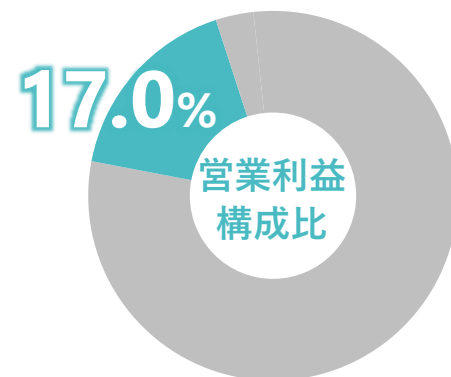
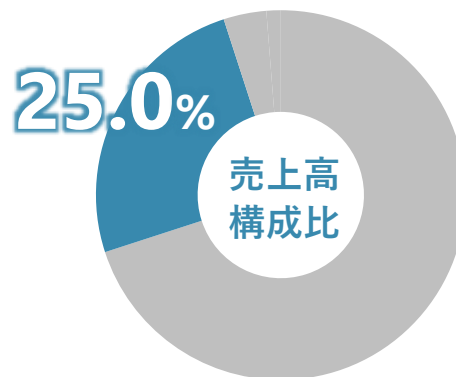
# モジュール・システム建築事業

## 経営計画<2025年度>

売上高 85 億円

営業利益 8 億円

年間受注額 90 億円



### 軽量鉄骨建築の普及・拡大

企業の投資スタイルを提案  
(短納期・低コスト・短償却)



### VR・3Dによる積算作図システムの導入

省力化と顧客優位性の確保



### 効率化とコスト削減のための「協業」

各地区の建設会社との施工協力体制の確立



### M&A促進によるシナジーの創出

「1+1」以上の価値を創出



# 建設機械レンタル事業

## 建設機械レンタル事業

### 経営計画<2025年度>

売上高 15 億円

営業利益 1 億円



### 北海道南部の市場占有率維持

マーケットインによる機会損失回避



### 1台ごとの機種採算性の徹底分析

設備投資の費用対効果と成果の創出



### 技術者育成のための就学補助

資格取得報奨金と就学補助金の強化

## 海外事業

### 経営計画<2025年度>

売上高 5 億円

営業利益 1 億円



### コロナ後の反動需要の取り込み

潜在需要 + 反動需要による拡大



### 事業早期黒字化と事業体制の確保

事業収益性の改善による  
海外単独での事業化確立



### 海外企業M&Aによる規模拡大

地盤確立による周辺国への展開の検討



#### 将来情報に関するご注意

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>